

第4回「富山市南商工会フォトコンテスト」～婦中・大沢野・大山・細入の四季～ †

入賞作品と講評 †



最優秀賞 「光射す滝」 松嶋 辰輔 撮影場所 旧細入小糸(夫婦滝)

細入の夫婦滝の木々の間から注がれる力強い木漏れ日を3本見事に捉えた作品。時間帯や季節によっても変化する太陽の位置が右斜めの方向にあり、その方向から滝に力強い木漏れ日が注ぎ効果的です。自然相手の撮影ですから日ごろから心掛けて通わないと遭遇できない風景です。対角線構図にすることで緑の部分と滝の位置のバランスが絶妙に配置されています。この瞬間を逃さず切り取った作者の感性を讃えたい最優秀賞にふさわしい作品です。

優秀賞 「秋峡の百間滑」 亀谷 慶英 撮影地 旧大山町百間滑



秋の季節に自然が磨き上げた大きな岩を流れる水系を長時間露光で美しく表現した作品。百間滑の水系は気象条件により水量の変化があり、これだけの水量があり岩が濡れているので雨の日と思われます。そんな日にこの場所に行くのも大変なのですが百間滑の特徴を生かしたフレーミングが見事な作品となっています。

優秀賞

「黄昏の神通峡」

松永 正昭

撮影地 旧大沢野笹津



夕暮れの笹津鉄橋を渡る高山線や青く染まる中の笹津橋のライトアップが美しい作品。

右上の空気抜きの空間を見るとまだ明るく見える時間帯ですが高山線が通過するタイミングと笹津橋のライトアップの露出調整でうまく表現しています。それぞれ人が作った建造物ですが自然に溶け込んで美しく青く染まるこの作品はもとても素敵です。

入選

「トワイライト」

梶原 隆

撮影地 婦中町中央植物園



中央植物園の春爛漫の桜のライトアップを青く見える池をメインに表現した美しい作品。

桜のライトアップをメインにすると周りが黒くなりますが池をメインにしたことで青が協調された作品になっています。水面に浮かぶ睡蓮の葉が青白いまだら模様になって美しさを増しています。その場の状況をみて判断された感性が生かされた作品になっています。

入選

「新旧二つの笹津橋」

中村 博

撮影地 旧大沢野笹津



夜の高山線を銀河鉄道のごとく白い奇跡のみで表現したアイデアが美しい表現の作品。

猿倉山から見下ろすようにカメラを構え時計見ながら高山線の通過時間を計算しながら列車を待つ、カメラをセット緊迫した作者の思いが伝わってきそうです。白い奇跡は客車の窓の照明ですが白一線になりその思いが完成した瞬間の思いが伝わってくる作品です。

入選

「春祭り お披露目」

森下 健蔵

撮影地 旧細入猪谷八坂社



伝統を守る獅子舞の始まりのお披露目風景をひとまとめに分かるように表現された作品。メインの獅子舞のメンバーがきれいに勢ぞろいして祭りの始まりの口上を語る動作や表情が捉えられている。風景や衣装等の素朴な雰囲気からも伝統が感じ取れる。地元の人たちが楽しむ行事ですが一般の人たちやカメラマンが訪れる環境や情報があればとおもいました。

佳作

「秋の切り絵」

網谷 昭

撮影地 旧大山町らいちょうバレー



らいちょうバレーのジップラインを切り絵師さんが切り抜いたように表現したユニークな作品。空にカメラを向けて逆光状態をうまく利用した事で被写体がシルエットになり正に切り絵のような雰囲気になっています。すすきに秋っぽい季節感があり、フレーミングもシンプルで良い。

佳作

「祭りの日」

川上 二郎

撮影地 婦中町熊野



熊野神社の稚児舞いの子供たちがお父さんに担がれて舞台に向かう情景を捉えた作品。婦中町では比較的知られた伝統的な祭事です。家から神社までは稚児は地に足をつくことができない仕来りがあり、そんな場面の父と子の緊張した表情を捉えた作品となっています。

佳作

「神通の静寂」

坂井 秀治

撮影地 婦中町添島



神通川に濃い霧が発生しその霧が上昇し太陽がブロッケン現象になった幻想的な作品。神通川は季節によって霧が発生しますが太陽に合わせたように薄い霧が昇りこの現象が起きたことは奇跡に近いと思います。霧の後ろの山並みが見えれば場所が特定でき更に効果的です。

佳作 「曲水の宴」

杉山 邦雄 撮影地 婦中町各願寺



縦位置で奥行き感を出し曲水の宴のそれぞれの人々の役目の動きが見える作品です。S字になった水の流れに合わせて極力人物が重ならない位置取りでの撮影が効果的です。多くの人がこの行事を演出していることが分かります。平安の雰囲気うまく捉えられています。

佳作 「秋の気配」

千森 孝行

撮影地 旧大山町真川合流地点



ススキで季節感を出して常願寺川の砂防堤とかぼちゃ電車のアレンジがマッチングした作品。大山地区内の常願寺川を走る地鉄電車のポイントは比較的少ないと思いますが大自然を走る雰囲気が良くでています。この他の大山地区の電車の撮れるポイントが見たいと思いました。



佳作 「家族」 角 猛雄 撮影地 旧大沢野塩の千本桜

満開の桜並木道を子供たちとのんびり歩く親子の雰囲気が出た作品。

満開の桜に道端の黄色の水仙が彩を添えより艶やかさが表現されている。更に人物を配置することで平凡になりがちな風景をカバーしている。より作品となっている。

佳作 「威風ドォードォー」 富田 栄人 撮影地 婦中町安田



安田城月見の宴での甲冑姿の武将が堂々と馬に乗った姿を勇敢な雰囲気に捉えた作品。

馬が大きく見えるように広角系のレンズをローアングルにして撮影した事で馬に迫力が出ている。画題の「威風ドォードォー」も主役が馬であることを示しユニークな表現となっている。



佳作 「挑戦」 松為 幸夫 撮影地 旧大沢野合田(熊野川)

合田の熊野川の美しい人口滝を遡上する鮎を絶妙になッターチャンスで捉えられた作品。鮎が二匹が急流を飛び上がった瞬間をじっくり待ち構えて見逃さずに捉えられています。幾度もシャッターを切った中の一枚なのでしょう。努力の成果が出た作品です。

佳作 「天高く」 水野 敬夫 撮影地 旧大山町らいちょうバレー



らいちょうバレーを泳ぐこいのぼりを五月晴れの清々しい青空の日に撮影された美しい作品。魚眼系のレンズを使い離れたこいのぼりを寄せるように数多く写し出しています。らいちょうバレーの春夏秋冬色々なイベントの一つをアピールするかのような主催者の趣旨に合った作品。

佳作

「踊る白銀」

山田 正昭

撮影地 婦中町余川



白銀に染まった立山連峰を背景に白鳥の群れが青空を配列よく美しく飛ぶ姿を捉えた作品。余川は立山連峰と白鳥が撮影でき、数多くのカメラマンが訪れる場所ですがこの作品は幾度も通い訪れたシャッターチャンスの成果だと思えます。努力を讃えたい作品となっています。

応募総数 109点 53名

——総評——

第4回富山市南商工会フォトコンテストの審査に参加させて頂きました。審査委員は私を含め8名で行われました。今回も前回に続き作品の講評は私が審査に参加して感じた事を率直に表現してみました。

南商工会のエリアは婦中、大沢野、細入、大山の4エリアが対象ですが今回の作品を拝見する限り昨年にはない作品が数多く見られました。今回の最優秀賞は旧細入の夫婦滝です。第一回の最優秀賞は百間滑の木漏れ日でしたが今回は細入の夫婦滝に3本の木漏れ日が注がれた見事な作品でした。条件が揃わないと撮れない写真ですが木漏れ日がなくても見てみたい滝です。観光アピールにもなる作品でした。優秀賞は百間滑をスローシャッターで美しく表現された作品と笹津橋のライトアップ高山線をのこらボ的なこれも美しい作品の2点でした。その他の入選、佳作作品も4エリアを紹介するのにふさわしい作品が多く出品されていました。一部4エリアに隣接する場所の作品もありました。撮影立ちポジションが4エリアであれば問題はありますが確認されると良いと思います。主催者の趣旨が春夏秋冬を通じて美しい景色や祭り、イベント、観光に繋がるものや普段何気なく見ている光景も4エリアにはまだまだ存在していると思います。今後もこの4エリアを皆さんのアイデアと感性で表現した作品や新しい撮影ポイントを発見していただき新鮮さを感じられる作品をこのフォトコンテストに応募していただきたいと思っています。

審査講評:(公益社団法人)日本写真協会 正会員 中村 高志